

第15回福智町弓道大会  
**凜**とした空気の中の音が響く

福智町弓道連盟主催の「第15回福智町弓道大会」が12月14日に福智町弓道場で開催されました。大会では県内外から参加した高校生から89歳までの腕自慢の射手443人が、呼吸と精神を整え一射一射に集中。思わず息を飲むほど張りつめた雰囲気の中、選手たちは日頃の鍛錬の成果を互いに競い合い、矢を放つ音と的を射抜く音を弓道場に響かせていました。



↑ 弓を手に28m先の的に鋭い視線を送り、精神を集中し矢をつがえる選手たち。

↓ 雪遊びで親睦を深める、赤い帽子の中城村の児童たちと、福智町の児童たち。



沖縄県中城村・福智町交流事業  
**友**情と絆深めた貴重な3日間

沖縄県中城村と相互ホームステイを続けている福智町交流事業実行委員会主催の「交流会」が、1月16日から3日間行われました。来町した18人の児童は、2日目に待望の「雪体験」を英彦山で満喫し、白い息を吐きながら福智の児童31人と交流。また、市場小学校での餅つき体験や「フクチ・シマウタ・フェス」の観賞などで、3日間かけてお互いに思い出を刻み合いました。

TOTOどんぐりの森づくり  
**森**と水に優しい環境作りに向けて

どんぐりの苗木を植えて地域を緑化する「どんぐりの森づくり」が、12月13日に奥池公園（弁城）で行われました。TOTO株式会社と町が協働で行うこの取り組みに、TOTO社員や家族、地域住民など約140人が参加。雪がちらつくなか斜面を除草した後、TOTO社員たちが自宅や職場で育てたどんぐりの苗木約30本を一本一本丁寧に植樹していきました。



↑ 大きく育つように願いを込めながら、苗木を植樹し目印のリボンを結ぶ参加者。

↓ 日ごろの訓練の成果を発揮し、規律のとれた分列行進を行った福智町消防団員。



下田川ニヶ町連合消防出初式  
**表**情と意識引き締め防災の決意新たに

新年恒例の「下田川ニヶ町連合消防出初式」が1月11日に方城グラウンドで挙行され、福智町・糸田町の消防団員459人と消防車21台が出動しました。式典では、大隊長の号令のもと、統制のとれた服装点検や分列行進を行い、地域の防災を担う強固な消防体制を披露。団員たちは昨年の広島豪雨災害などの被害を踏まえ、防災意識を一層引き締めていました。

↓ 観客やコーラスメンバーと一緒に福智町イメージソング「月夜歌」を合唱する普天間かおりさん（中央）。



フクチ・シマウタ・フェス  
**音**楽で福智が沖縄ムードに

福智と沖縄を音楽で結ぶ「福智町音楽祭 フクチ・シマウタ・フェス」が1月17日に地域交流センターで開催されました。イベントは2部構成で、前半は福智炎蓮太鼓の和太鼓と、福智町と交流のある中城村護佐丸太鼓のエイサー、福智町コーラスメンバーによる河村光陽の童謡メドレーを披露。後半は中城村出身歌手・普天間かおりさんのコンサートが行われ、自ら作詞した福智町イメージソング「月夜歌」を含め8曲を熱唱。アンコールでは「月夜歌」を約300人の観客も含め全員で合唱し、会場一体となったフィナーレを飾りました。

虎尾桜を樹木医が診察  
**町**のシンボルを後世に伝えるために

毎年春先に緋色の花を咲かせる、推定樹齢600年の巨木・虎尾桜。雄大な姿とは裏腹に、近年疲労がたまっているとの意見が町に寄せられました。そこで町は樹木医に治療を依頼し、1月9日に現地で状況を確認。現状や治療に向けての方針が示されました。今後は主幹の治療に加え、支柱やワイヤの新調、土砂の流出を防ぐ石積みなどの周辺整備を開花までに行う予定です。



↑ 虎尾桜を診察し、治療に向けて意見を交わす樹木医の古賀先生と小河先生。

↓ 町長を表敬訪問した西中さん。福智町では初のJICAボランティア派遣です。



西中さんJICAボランティアとしてマレーシアへ  
**国**際協力の志を胸に抱き世界へ

国際協力機構（JICA）のシニア海外ボランティアとしてマレーシアに赴任する西中純子さん（上野）が、1月5日からの出発に先立ち、12月25日に町長を表敬訪問しました。2年間マレーシアの障がい者施設に着任予定の西中さんは、「障がいを持つ現地の人にも、社会の一員として生きている実感を持ってもらえるような活動をしたい」と、意気込みを語りました。